

簡易自動ドアキット

AUTOSLIDE®



オートスライド
取扱説明書

オートスライドの保証について

オートスライドの保証内容は下記のとおりとなります。

保証修理をお受けになる場合は、購入時期の証明となる資料をご確認のうえ、お買い上げ先、販売店へご連絡ください。

尚、本保証規定は、予告なく内容を変更させていただく場合があります。

1 保証期間

オートスライドおよびその付属品、オプションの保証期間は、お買い上げ後1年間です。

2 保証範囲

- (1) 上記保証期間中にオートスライドの製造責任による故障が発生した場合にのみ、製品の故障部分の交換または修理を無償で実施いたします。ただし、ご使用される地域によっては修理対応に時間を要す場合がございます。買い上げ先、販売店に別途ご相談ください。
- (2) 取扱説明書の故障診断に沿った確認は、原則としてお客様にて実施をお願いいたします。基本的には訪問での故障診断は行いません。該当する製品を鳥は筋、弊社に送付して頂くことで確認させていただきます。また、その際の送料はオートスライドに瑕疵があった場合、無償とさせていただきます。
- (3) 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理(保証対象外)とさせていただきます。
 - ① 仕様書・取扱説明書等に記載されている以外の不適切な使用条件・環境・取扱い・使用方法・用途、およびお客様の不注意や過失等に起因する故障
 - ② 当社製品以外と組み合わせた取り付けしたことによる(お客様の装置やソフトウェア)の原因による故障
 - ③ 当社指定サービス業者以外による修理や改造に起因する故障
 - ④ 当社製品がお客様の装置に組み込まれて使用された場合、お客様の機器が受けている法的規制による安全装置、または業界の通念上備えられているべきと判断される機能・構造等を備えていれば回避できたと認められる故障
 - ⑤ 火災等の不可抗力による外部要因、地震・雷・風水害等の天変地異による故障
 - ⑥ 当社出荷時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障
 - ⑦ お客様での不正な改造による故障
 - ⑧ お客様での施工ミスによる破損・故障
 - ⑨ 腐食性ガス・有機溶剤・化学薬品溶液等の雰囲気、およびこれらが付着する可能性のある環境下での使用による製品腐食に起因する故障
- (4) 個別契約等にて別途定めがある場合は、それを優先いたします。

3 保証責務の除外

保証期間を問わず、当社の責に帰すことができない事由から生じた障害・事故補償、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失・逸失利益・二次損害・当社製品以外への損傷、およびお客様による交換作業・現地機械設備の再調整・試運転業務に対する補償については、保証責務外とさせていただきます。

4 用途限定

- (1) 重要な設備に適用する際は、オートスライドが故障しても重大な事故や損失に至らないように、バックアップ機能を設備側に設けてください。また、その場合の損失、責任をオートスライドは一切負いません
- (2) 当社製品は、家庭用の汎用品として設計・製造されています。したがって、下記のような用途は保証適用外とさせていただきます。ただし、お客様の責任において製品仕様をご確認のうえ、必要な安全対策を講じていただく場合には適用可否について検討いたしますので、当社までご相談ください。
 - ① 原子力・航空・宇宙・鉄道・船舶・車両・医療機器・交通機器等、人命や財産に多大な影響が予想される用途
 - ② 電気・ガス・水道の供給システム等、高い信頼性や安全性が要求される用途

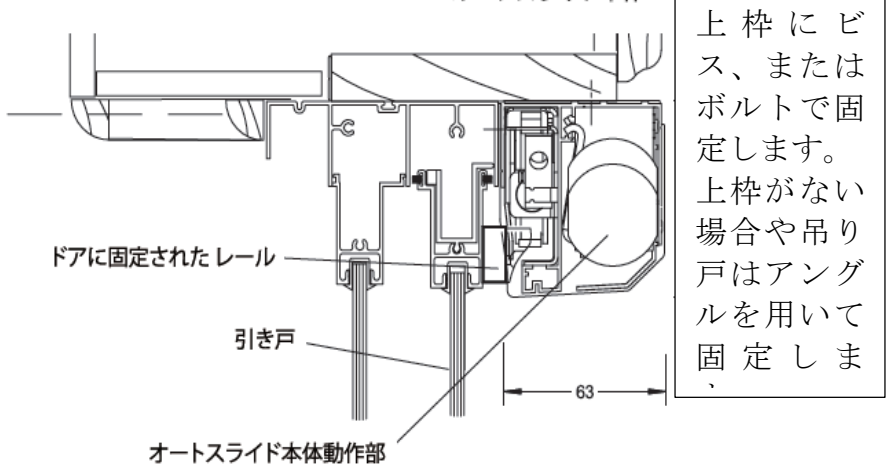
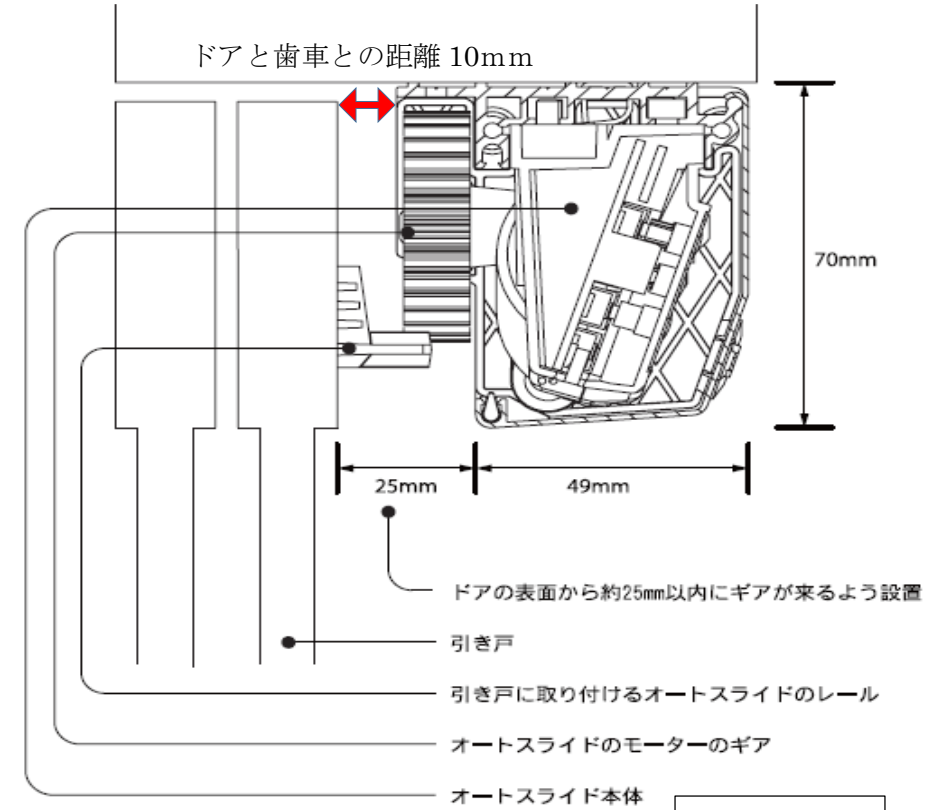
本製品のご使用者様は上記補償内容をご了承いただいたものとさせていただきます。

対象製品	オートスライド本体・各種センサー
非対象製品	ラック（レール）、本体カバーなどの非電気製品
保障期間	購入から一年
問い合わせ先	オートスライドジャパン 0277-51-4973
製品仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・駆動方式:ラック&ピニオン方式 ・適用ドア寸法:高さ 2100-2400mm x 幅 720 - 1500mm ・色:ブラック/ホワイト ・推奨最大ドア開閉幅:1500mm ・使用温度範囲 0℃~45℃ 湿度 85%以下。結露無き事 ・防水機能 なし ・防塵機能・IP20 ・最少ドア開閉幅:300mm (ペットモード時) ・電源入力:交流 100V ~ 50/60Hz ・はさみ込時は反転する安全装置付き ・本体寸法:1000mm x 71mm x 64mm ・停電時手動動作可能 ・タッチセンサー:2個付属 ・リモコン:オプション ・赤外線センサー:オプション ・無線(ペット)センサー ・ペット・マットセンサー

目次

オートスライドの保証について	2
オートスライドの外形図	5
オートスライド内容および設置に必要な道具	6
オートスライド取り付けガイド	8
ステップ1：施工準備	9
ステップ2：施工	9
ステップ3：設定（本体・タッチセンサー）	16
4 オプション	20
ポケットドア（戸袋式の引き戸）への設置	23
オートスライドユニットを左引きにする	24
トラブルシューティング	26

オートスライド外形図



オートスライド内容の確認および必要工具



その他・AC電源アダプター(黒)

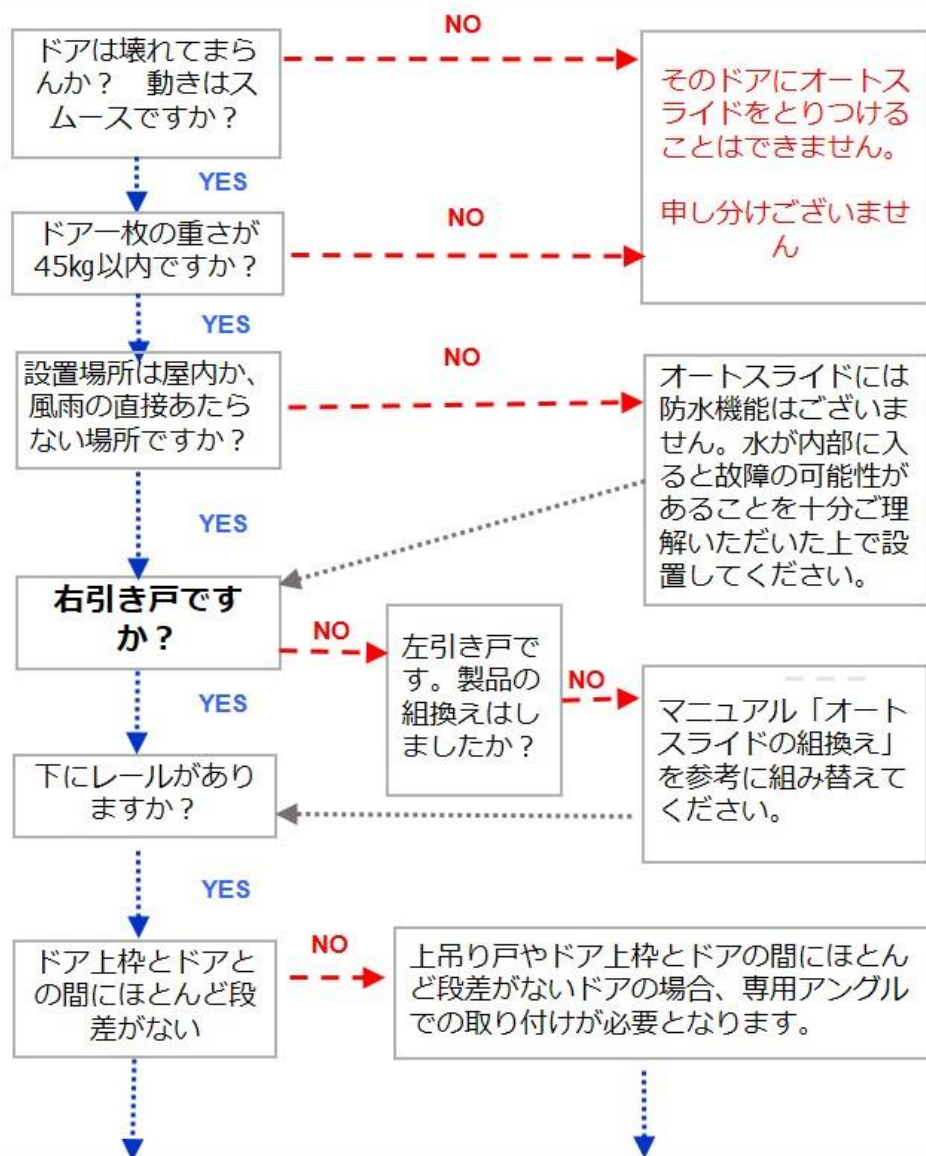
(Acアダプターの形状は断りなく変更されることがございます)

設置に必要な工具

- ・電動ドライバー(インパクトドライバー)
- ・2番プラスドライバービット・下穴用3mmドリルビットドライバー
- ・糸ノコ・・・ラック(レール)を切るため
- ・12.0mmドリルビット
(10mm径の有線センサーを本体反対側に設置するため)



オートスライド取り付けガイド



ステップ 1. 施工準備・・・ドアの確認および取り付け位置の確認

1-1. 取り付けに問題のあるドア

オートスライドはほぼすべての引き戸に取り付けることが可能です。ただし、以下のドアに関してはとりつけが不可能か、動きが不安定になるおそれがございます。

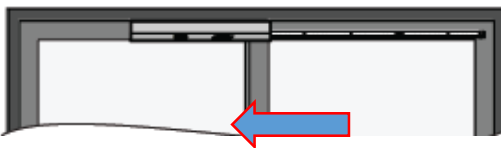
① ドアが壊れているか、ドアの重さが 45 kg を越えているもの
添付のテスターで確認してください。マジックテープになっており、
この製品で引ける限界荷重がかかると、テープがはがれる仕組みとなっております



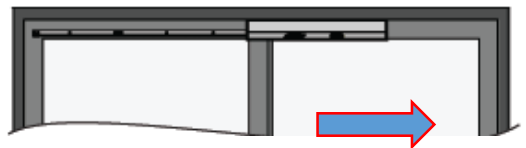
- ② 大型の上吊り戸で、ドアが大きく揺れるもの
→ラック（レール）と歯車が外れやすいため
- ③ サッシ引き違い戸のうち、外側にあるドアを引く場合
→ラック（レール）が干渉して駆動できません
- ④ 折れ戸、ビニールカーテン引き戸
- ⑤ ひさしがなく、雨や水が直接かかる環境。浴室内部などの高温多湿環境。
→防水機能はございません。水がかかると回路がショートするおそれがございます。
- ⑥ 砂、粉塵などが常時かかる環境
→歯車とラック（レール）が砂、粉塵で摩耗し、駆動不良が想定されます。

上記のドアにあたる場合は、施工をしない判断をするか、
施工時に何らかの対処方法を十分にご検討ください。

1-2 ドア引き方向をチェック



1. 左に引くドア(左引き)



2. 右に引くドア(右引き)

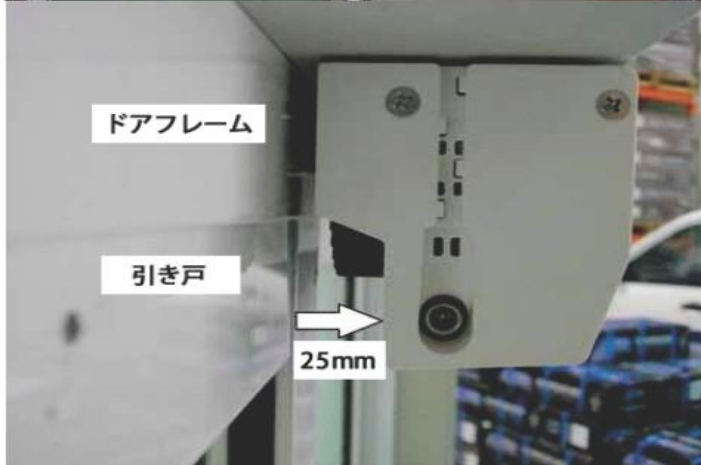
オートスライドの
モーターは出荷時には
1(左引き)に対応する
形となっています。



左引きの場合モ
ーターが右、コン
トロールユニット
が左です。

右引きに対応させる場合
は製品の組み替えが必要
です。

ドライバーと六角レンチ
を用いて、モーターの位
置を変更します。詳しく
はマニュアルの「オート
スライドの組換え」頁を
ご参照ください。



1-3. 本体の準備

本体のカバーをはずし、取り付けの準備をします。カバーは本体左右に皿ネジで固定されています。一方のネジを外せば、スライドしてカバーをとりはずせます。



無理に力をいれて外さないでください。破損の原因になります

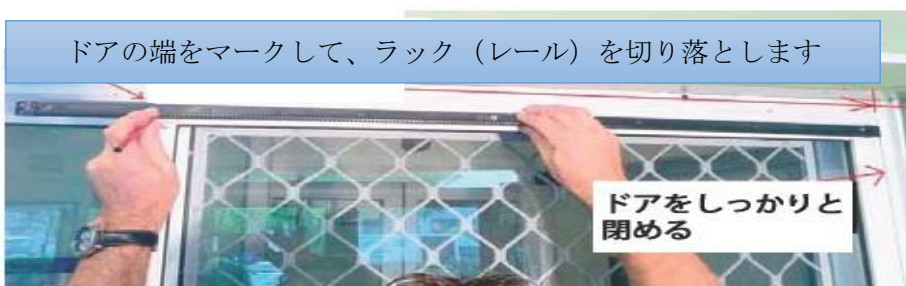
ステップ 2. 施工

2-1. ラック（レール）を組み合わせ、ドア幅にあわせて切断



エンドキャップの主な役割は装飾用途です。エンドキャップをとりつけることで、引ける幅が短くなります。

ドア幅いっぱいには引きたいときは、エンドキャップを取り付けしないでください。



ラックの切断はホームセンターで購入できる一般的な糸ノコで可能です。怪我をしないように十分にご注意ください。

オートスライドのラックは2本に分割されており、各50cmの100cmとなっております。ラックを組み合わせることで最大で200cmまで延長可能です。

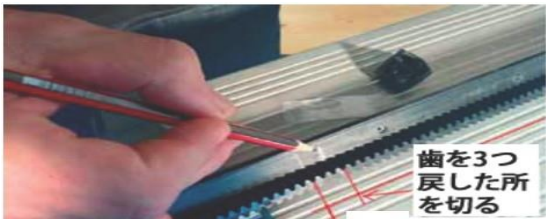
通常はドア両面にタッチスイッチを両面テープで取りつきますので、その位置を考慮し、ドアの開閉幅を決めてください。開閉幅は設置後に任意で決めることができます。



開閉幅は設置後に任意で決めることができます。ただし、切断したラック（レール）以上にはなりません

ドア開口幅いっぱい開閉させたい場合

ドアをしっかりと閉めた状態で、ドア端にあたる部分でラック（レール）に印をつけます。そして、ドア端から数えて歯三つ分手前の歯で切断します。



ドアをしっかりと閉めた状態で、ドア端にあたる部分でラック（レール）に印をつけます。そして、ドア端から数えて歯三つ分手前の歯で切断します

ドア開口幅いっぱいに開閉させたい場合、エンドキャップは使用できません。

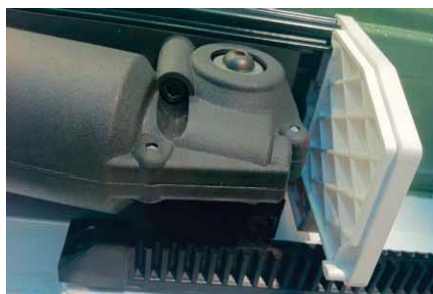
2-2 . 本体とラック（レール）のドアへの取り付け準備

本体を仮おきし、ラックの取り付け向きをきめてください。



ラック上むきの場合、上枠から 65mm の位置にラック下部がきます。ラック下むきの場合 52mm にラック下部がきます。サッシの上枠の幅にあわせてお選びください。

2-3. 本体の取り付け位置を正面から確認



ラックの端とドアの端が揃います

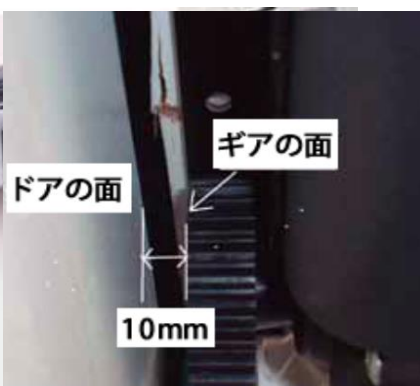
1

重要 ポイント!!

ドアを閉めた状態で必ず、モーターの歯車の下にラックがくることを確認してください。深く、しっかり歯車とラックがはまっていることを確認してください。



2-4. 取り付け



レールはドアと平行に取り付け

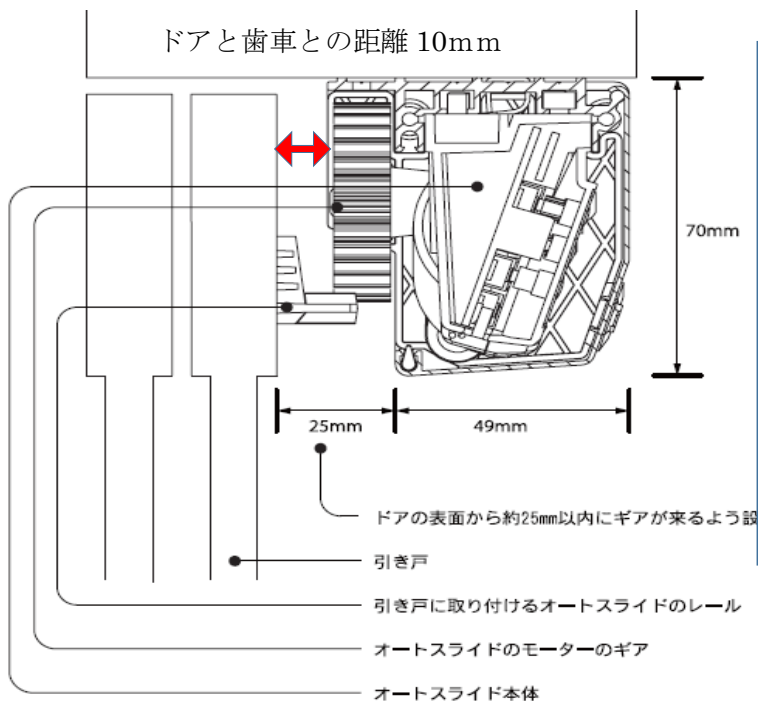


レールをとりつけるときに本体を傷つけないように注意してください

- A. 本体を取り付ける
このとき、ギア面の端とドア面が8~10mmとなるようにする
- B. レールをとりつける

AとBの順序は変更しても問題はありません。

レールと本体を固定後、ドアを動かしたときに、多少重くて、動きが渋いはずです。
歯車が空転することなく回ることをご確認にください。



切断したラック（レール）の端にも必ずビスを留てください。

切断面は穴があいておりません。穴加工後ビス止めをしてください。ラック（レール）の両端がもっとも力がかかるところです。ここがしっかり固定されていることが、オートスライドのスムーズな駆動を実現するポイントです。

歯車の動きがスムーズでないとき

Q1. 歯車が空転する。ドアを手でひくと軽く、ラックと歯車がかみあっていない場合

A1. ラックと歯車ま隙間が大きすぎます。本本体と上枠との間にスペーサー（厚紙など）をはさみ、しっかりとレールに噛み込むようにしてください。

Q2. ラックと歯車が渋い。動きが重くなりすぎ、ドアが動かない。

A2. ラック（レール）をわずかでも、現在の位置から下にとりつけるしかありません。ビスを一度とりはずし、上方斜めから打ち直すだけでも多少は下がると思います。

特殊なドアへの取り付け

1. 上枠に取り付けスペースがないドア、吊り戸の場合

製品本体をとりつけるための上枠がない場合、アングルを用いてとりつけします。アングルはボルトとナットでオートスライド本体に固定します。推奨ボルト径は5Mです。

また、吊り戸はドア上部にドアを吊るための機構が内蔵されております。ここに直接本体をとりつけると、機構に干渉するおそれがあるため、吊り戸に施工する場合下記の写真のようにアングルと木材で本体の高さを調整してください。



2. アルミサッシで材質が薄い場合

サッシのアルミ厚が薄く、ビス止めした後に固定部がガタつく場合がございます。その際は、アルミサッシ、上部を開けて、サッシ内部に裏板をあて、その裏板に固定する方法などがございます。

3. 枠中央部が大きくせり出しているドア

アルミサッシのなかにはクレセント鍵のために、中央部の枠が高くなっております。このままだと、本体がぶつかってレールがひけません。10mm、20mmなどのアルミ角材をご用意いただき、枠と同じ高さまでレールを張り出させてから、お取付ください。

4. サッシ上部が平らでないドア

サッシ上部は装飾などで平らでない場合がございます。凹んでいる面にアルミプレートなどを入れて、高さをあわせ、できるかぎりラック（レール）がドア面と水平にとりつくようにしてください。ガタつきがあると、うまく駆動しません。

ラック（レール）をガラスサッシにビスにて取り付ける際は、窓ガラスを割らないように慎重に行ってください。

ステップ 3. 設定

3-1. 電源入力前に本体中央部にある DIP (ディップ) スイッチをドアにあわせて設定いたします。



右引きか左引きを決定する DIP1
以外には基本的にはすべてオフ(手前
側)としてください。

出荷時のディップスイッチはすべ
てオフとなっています。

左引き

ディップスイッチ 1…オフ(手前側)

右引き

ディップスイッチ 1…オン(奥へ下げる)



本体は英語表記となっておりますので、日本語でディップスイッチ表を掲載します。

No	英語表記/ 日本語訳	オフ(手前)	オン(奥)
1	Direction/learn (引く方向・学習)	左引き	右引き
2	Slam Shut (最後に強く閉める)	モードオフ	最後に強く閉める
3	Pet learn (ペットモード学習)	モードオフ	ペットモード学習
4	N/O or N/O lock (別売り鍵連動)	モードオフ	鍵連動
5	MAX75%open power (軽い扉対応)	通常パワー	75%の出力で駆動
6	N/A (使用せず)		
7	Toggle (スイッチで開く、再度スイッチを押さないと自動で閉まらない)	モードオフ	トグル開閉実施
8	Beeper (警告音)	モードオフ	動作中に警告音

電源導入前に必ずドアをしめてください。

3-2 電源を投入。

モーターの反対側にある赤いスイッチです。出荷時は必ずオフとなっております。電源をいれると、ドアが閉まっている状態から最低二度ゆっくりと往復します。一度目で閉まっているドアのはしから戸当たりまでのドアの幅を認識し、二度目でドアを引くときに必要な力を学習します。うまく学習できないときは何度か往復することがございます。停止すれば、登録完了です。

戸の開くはばを任意できめたい場合

開かせたいはばでとまるように木材などを置き、戸当たり(ストッパー)としてください。ストッパーまでの開閉はばのみで学習し、記憶します。

扉を固定するときにはできる限り、固いものでしっかりとめてください。

柔らかいものでは、オートスライドが戸当たりと認識しないおそれがございます。

設定が終われば、ストッパーははずしてもかまいません。

また、引き違い戸などは反対側からの人の挟み込みを想定し、

開ききったところで10 cm程度あえて空間をつけることをおすすめします。

無事設定終了すると、一番左にある緑色の◎が点灯して待機します。

緑色のランプが点灯



設定がうまくいかない場合

◆ランプがいつまでも消えず、左→右の順番に点滅している◆

ドア幅の読み込みがうまくいっていないようです。

戸当たりの認識がうまくいかない、戸当たりより先にレール先端で歯車が空転してしまった場合などでこの症状がでます。

解決方法→初期化をおこなってください。(ディップスイッチ1をオン、オフにする。あるいはオフ→オン)

木材など固いもので、ドアの戸当たり(ストッパー)を作り、開ききるポイントを機械に教えてあげてください。

◆設定が終わったが、ドアが半開きでとまる◆

開閉方向を決めるディップスイッチの設定と引く方向が間違っている可能性があります。

あるいは、はじめて電源投入時に、扉を閉めた状態で読み込ませなかった場合がございます。

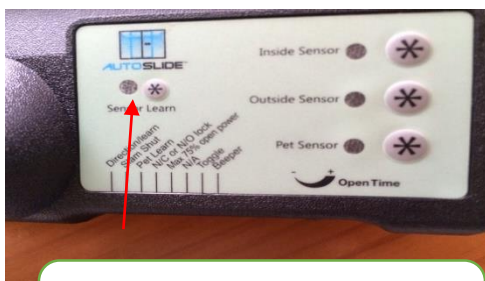
解決方法→初期化をおこなってください。(ディップスイッチ1をオン、オフにする。あるいはオフ→オン)。すぐに電源を切り、ディップスイッチで方向を設定し、扉をしめた状態で再度電源を入れなおしてください。

3-3. タッチセンサーの登録

付属のタッチセンサー（プッシュボタン）は登録（ペアリング）が必要です。本体とのペアリング登録されている場合もございますが、基本的には登録が必須です。



タッチセンサー背面の両面テープで固定してください



Sensor Learn ボタンを押し、LED が赤く点滅したら、タッチセンサーを押します

1. タッチセンサーを準備します。電池絶縁シートを抜いてください。
2. 本体の「Sensor Learn」と記載されている*ボタンを押してください。**赤く点灯します。**
- 3 この点灯中にタッチセンサーをおしてください。点滅すれば、タッチセンサーが無事登録されました。残り一台も同様の作業で登録をお願いします。

※ボタンを5秒以上長押しすると、登録設定を初期化するモードになります。ご注意ください。

両面テープが弱くなったら、市販品で代用ください。

3.4 開放時間の設定



扉が開いた後、停止する時間(待機時間)を本体下部、ディップスイッチの右にあるボリューム(Open Time)で調整できます。

右にまわすと、待機時間が長くなります。左にまわすと最低で待機時間ゼロ(開ききると同時に閉まる動作を始める)に設定できます。

ドアが閉まるときの速度について

オートスライドでは開くときに比べ、閉まってくるときはゆっくりとなっております。挟み込みの危険防止のためです。製品上、この速度を変更することはできません。

タッチセンサーの電池交換および交換後の再登録

付属のタッチセンサーにはコイン電池 CR2016 が 4 枚使用されています。

家電量販店や 100 円ショップで購入可能です。

一日 30 回開閉で 1 年程度、店舗などでは半年程度で電池切れとなります。

頻繁な電池交換をさげたい場合は、有線センサーに切り替えをご推奨いたします。

電池交換後にセンサーの再登録が必要な場合がございます。

3-4 カバーをとりつける。

1. 埃防止モヘア(ブラシ)が干渉していないか確認してください。



2. カチッと音がするまでカバーを溝へ差し込みます。固ければ、マイナスドライバーで溝を少し空けてください。



3. ディスプレイ部がカバーの穴にはまります
4. 側面カバーを固定してください。

以上にて基本的な設置、設定は完了です。

ご苦勞様でした

4. オプション (各種センサー・リモコン)

4-1. 有線モーションセンサー



モーションセンサーを調整時、**最初時計回りで最少まで絞り**、それか必要な感知範囲まで、少しずつドライバーを反時計まわりで、まわしてください。

また、センサーの基部を動かすることで、角度調整も可能です

4-2. 無線センサー（ペットセンサー）、リモコン

4-2-1. ペットセンサーの設定

無線ペットセンサーはペットモードで使⽤します。

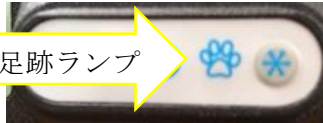
ペット用の開閉幅を設定します。

1. ディップスイッチ 3 をオンにして、電源をいれてください。
2. ストッパーでペットの幅でドアをとめます。最低 30 cm 以上～ドア幅まで設定可能です。
3. 無線用のペットセンサーを登録します。
4. 登録方法はタッチセンサーと同じく **Senser learn** ボタンを使⽤します。

モードをペットモードに設定して使⽤します。

本体中央にある*ボタンを順に押し、足跡のマークが点灯すると、ペットモードです。

ペットの足跡ランプ



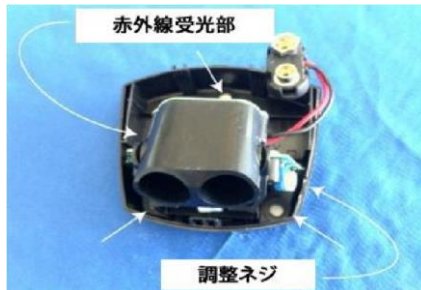
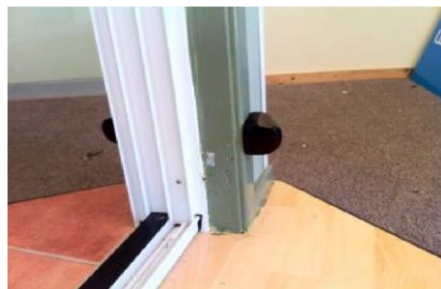
4-2-2 センサーの設定

- ・センサーはドアの内と外側に一個ずつ取り付けます。
- ・ドアの枠か、可能な限りドア枠の近くに取り付けてください。
- ・センサーは赤外線が真横に出るように 90°傾けて設置します。
(ドア開閉方向とビームが平行になるように)



ペットの背丈にあわせて床からの高さを調整してください。取り付けはビスか両面テープで行います。

カバーを手で開き、内部にある接続端子とバッテリーをつなぎます。受光部を回転させように動かし、バッテリーをセンサー内部に入れ込みます。



※ビス固定する場合は上記作業前に本体をビス締めします。バッテリー接続後、本体左側面のスイッチを入れると通電します。

センサー部分をさえぎった時だけ、青色の LED が点灯すればセンサー準備完了です。

4-2-3. センサーを本体に設定する。

オートスライド本体の Sensor learn ボタンを 5 秒長押し、登録モードにしてください。
LED が赤く点灯しているうちに、ペットセンサーの受光部を反応させてください。
LED が点滅すれば、登録完了です。基本的にはタッチセンサーの登録と同じです。

3. センサーの感度や角度の調整
本体内部の調整ネジをマイナスドライバーで回してください。
時計まわりで、照射距離が大きく、反時計回りで小さくなります。
受光部は角度を変えられます。ペットを感知する場所に合わせ、角度調整してください。

※ペットモードについて

ペットモードでは、人用のすべてのセンサーと、ペット用のセンサーが同時に使用できます。
人とペットが併用するドアにはこのモード選択が必須です。
また、ペットモード時の開閉幅は、3000mm 以上を推奨しております。
それ以下では誤作動が多くなります。

※専用リチウムバッテリーの交換について

本製品の専用リチウムバッテリーは消耗品となっております。
交換用電池は 9V1200mm の角形電池です。一般的なホームセンターでは売られていない
場合がございますので、ご注文についてはオートスライド専用サイト、
または各代理店にお問い合わせください。

4-3. リモコン登録

オートスライドの Sensor learn ボタンを 5 秒長押し、登録モードにしてください。
LED が赤く点灯しているうちに、スイッチのどれかを押して、反応させてください。
LED が点滅すれば、登録完了です。基本的にはタッチセンサーの登録と同じです。

中央下スイッチ・・・各モード選択
左右スイッチ・



戸袋式引き戸へ設置する

ドアの上部を覆っているカバーがあれば取り外し、
ドアの開閉部分の幅で、印を付けてラックを切ります。



2

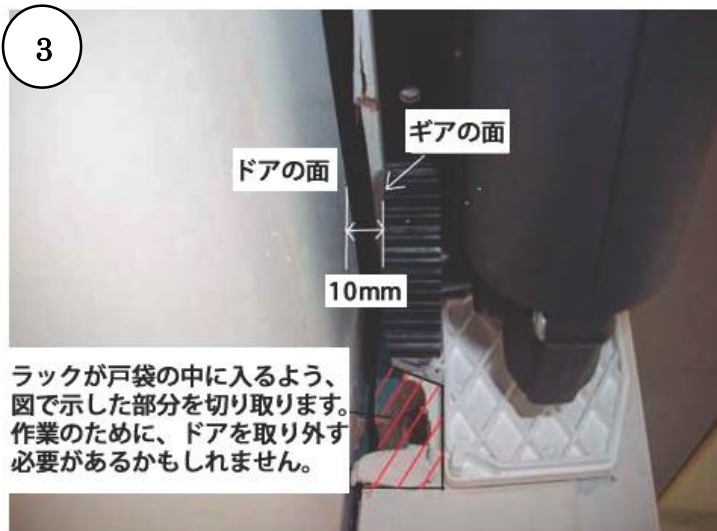
ドアの開く側にピッタリと合わせて
オートスライド本体を固定します。



ドアの面とギアの間が、
10mm空くようにします。

ドアの開く方向

3



ラックが戸袋の中に入るよう、
図で示した部分を切り取ります。
作業のために、ドアを取り外す
必要があるかもしれません。

戸袋式のドアに
レールを設置す
る場合、以下の
点にご注意くだ
さい。

1. 戸袋内に十分なスペースがあることをご確認ください。
2. 戸袋内に引き込むため、壁を壊す必要があります。施工にはご注意ください。
3. 配線などを戸袋内に通す際は、ラックに干渉しないようご注意ください。

オートスライドを左引きにする

オートスライドは出荷時、右引き専用となっております。

左引きとするにはカバーを外し本体の「ギア」と「コントローラー」の位置を組み替えます。



